

坂本龍馬祖先の墓

〇〇市指定の

史跡に

今年は龍馬生誕百五十年。多くの催しなど龍馬ブームでにぎわっていますが、南国市才谷地区には、龍馬の祖先の墓があり、このほど市の史跡として指定されました。

以下、市文化財めぐり案内（市教育委員会発行）から――。



二代彦三郎、三代太郎左衛門の墓

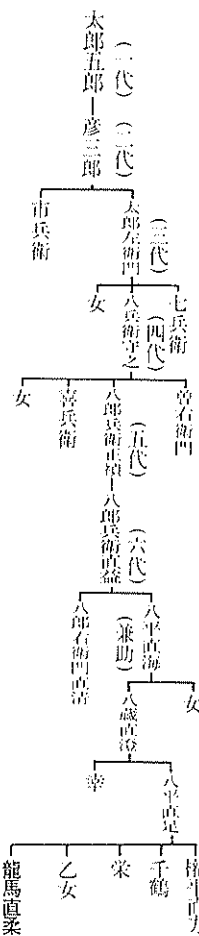


初代太郎五郎の墓

二代彦三郎、三代太郎左衛門の墓は、ここより上ること数百の

とある。

石室の背面に
明和四丁十一月吉日
六代裔孫
坂本八郎兵衛直益
長男 兼助直躬
次男 八次直清



大浜屋敷にあり、地元の人々の奉仕で墓域は常に清掃せられ、四季とどりの花が供えられている。

坂本氏の先祖は江州坂本よりきた、明智光秀の裔であるといわれるが、真偽のほどは明らかではない。

四代の八兵衛のとき、寛文年中（一六六一ごろ）高知の城下に移り、本庁筋三丁目東南角で質屋業、酒造業をはじめ業績が大いに上がった。当時城下の分限者に、中央では仁尾久太夫と櫛屋道清があり、下町では酒屋の根来屋又三郎、上街では才谷屋八兵衛があるといわれるように出世した。

六代の八郎兵衛に二人の子があり、兄の兼助が郷士の職を買って、本庁筋二丁目別居した。それから三代、風雲児坂本龍馬が誕生したのである。

